

製品名: KCNF1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12934**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	55kDa

抗原情報

遺伝子名	KCNF1
別名	KCNF1; Potassium voltage-gated channel subfamily F member 1; Voltage-gated potassium channel subunit Kv5.1; kH1
遺伝子 ID	3754.0
SwissProt ID	Q9H3M0
免疫原	抗血清はヒト KCNF1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 191-240

背景

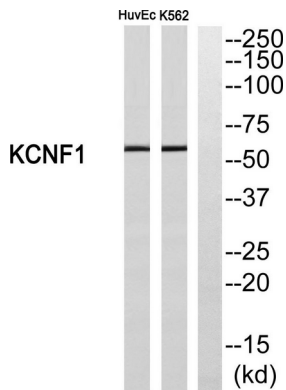
電位依存性カリウム (Kv) チャンネルは、機能的および構造的観点から、電位依存性イオンチャンネルの中で最も複雑なクラスに属しま

す。その多様な機能には、神経伝達物質の放出、心拍数、インスリン分泌、神経細胞の興奮性、上皮細胞の電解質輸送、平滑筋の収縮、細胞容積の調節などがあります。この遺伝子は、電位依存性カリウムチャンネルサブファミリー F に属するメンバーをコードしています。この遺伝子はイントロンを持たず、心臓、骨格筋、脳、腎臓、膵臓を含む、検査した全ての組織で発現しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],ドメイン: セグメント S4 はおそらく電位センサーであり、3 つおきに正に帯電したアミノ酸の配列が特徴です。機能: 推定電位依存性カリウムチャンネル。類似性: カリウムチャンネルファミリー F サブファミリーに属します。サブユニット: KCNG3、KCNG4、および KCNV2 とのヘテロ多量体。DLG1 と相互作用します。組織特異性:心臓、脳、肝臓、骨格筋、腎臓、膵臓で検出されます。、

研究分野

-

画像データ



KCNF1 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは KCNF1 ペプチドでブロッキングされている。